

大型ごみ収集有料化

ごみ排出量の減量に向けて申し込みによる戸別収集へ
大きさにより300〜900円の処理手数料

問合せ 美化推進課 Tel(759)42440

排出に処理手数料

28年5月から、大型ごみの収集を有料化します。
40センチ以上1メートル未満は300円、1メートル以上2メートル未満は600円、2メートル以上は900円です。

これまで、月に2回ごみステーションに出された大型ごみを無料で収集していましたが、有料化後は事前申し込みとなりますので注意してください。

有料化の目的

近年、1人当たりのごみ排出量の推移は、横ばいから、ごく緩やかな減少にとどまっています。

市では大型ごみを有料化することにより、ごみの排出量を減らすことをめざしています。

また、多くのごみを排出する人と、あまりごみを排出しない人との負担の公平性も図れることとなります。

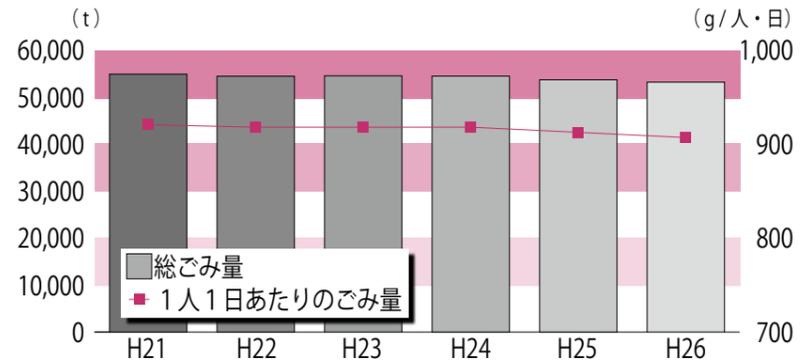
説明会の申し込み

有料化についての説明会を開催します。

希望する人は、自治会、サークルなどのグループで、電話で美化推進課へ申し込んでください（希望者多数の場合、調整した日程となる場合があります）。

希望する日時、場所が説明します（会場は用意してください）。

内容はスライドを利用したもので、必要な時間は約1時間です。

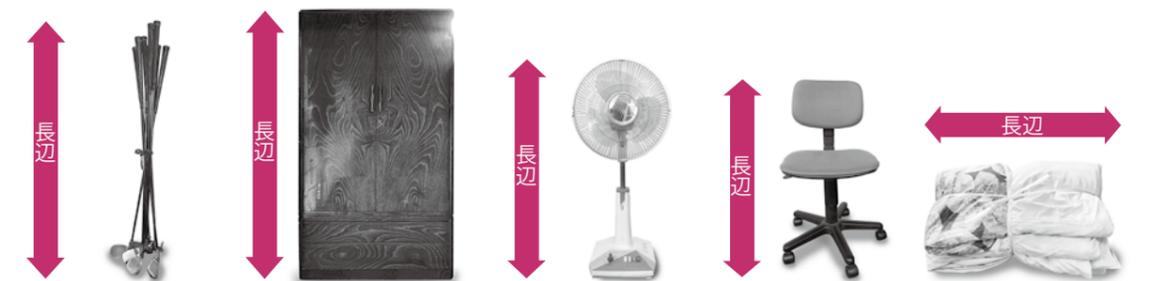


対象となる大型ごみ

- 40センチ以上 1.0メートル未満 → 300円
- 1.0メートル以上 2.0メートル未満 → 600円
- 2.0メートル以上 → 900円

家具や自転車、電化製品など、単品で1辺が40センチ以上のごみ。1辺の長さは、長辺で測ります（縦・横・高さで最も長い部分）。

測り方の例
*量んだものはその状態で最も長い部分で測ります。また、ゴルフクラブや傘などはまとめて1つと考えます（10本まで）



*大型ごみ収集の申し込み方法、処理券の購入方法などは、28年2月に全戸配布予定のチラシや、3月に全戸配布する「ごみの分け方・出し方パンフレット」を参照してください。

災害を防ぐ

Info.

緊急時の避難場所として、西方寺（多田院2丁目）が新たに使用できるようになりました。その他の避難所・避難場所については、市ホームページ、市防災マップ、市広報誌6月号を参照してください。

9月1日は、関東大震災が発生した日。加えて本格的な台風シーズンを迎えることから「防災の日」とされています。日頃から気象・雨量情報などに注意し、家屋の点検や避難場所の確認などを家族で確認してみてください。

もしもの時に備えられていますか？
9月1日「防災の日」をきっかけに意識を変える。それが「備え」への第一歩

防災パネル・グッズ展示

市では、9月1日(火)から4日(金)まで、市役所1階市民ギャラリーで「防災・減災フェア」を開催します。

家具固定器具、非常持ち出し品、備蓄食サンプルのほか、危険区域や避難場所、現在整備中の防災行政無線、自主防災組織や消防団の啓発に関する展示物など、災害関連パネルを展示します。

これをきっかけに、再度家庭での防災・減災対策について確認してください。

併せて災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援するための制度「フェニックス共済」について、県住宅再建共済基金が9月1日に説明と申し込み受け付けを行います。

なお、9月1日は、パネル展示を見学に来た人を対象

防災リーダー講座費用の一部を助成

市では、「防災士」として地域で活躍する人たちが増えてほしいという思いから、県が開催する「ひょうご防災リーダー講座」受講費用の一部を助成します。助成対象は市民で、同講座を受講・修了し、防災士資格試験に合格した上、防災士の登録をした場合に限りです。同講座は県広域防災センター（三木市）で10月上旬から28年3月まで12回、防災・減災に関する基礎知識や体験学習、図上訓練などが行われます。

助成希望者は、同講座を申し込みの上、9月30日(水)までに危機管理室へ申請を。定員は先着10人。

県住宅再建共済制度 フェニックス共済

問合せ (公財)県住宅再建共済基金 Tel0797(83)3122

9月1日(火)、9月7日(月)、10月5日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)午前10時から午後4時半まで、市役所1階市民ギャラリーで説明と申し込みの受け付けを行います。

同共済は年額5,000円で、全壊・半壊住宅の再建、購入時に最大600万円の給付が受けられます。プラス500万円の負担金で一部損壊への最大25万円の給付もできるようになりました。県内に家を所有している人が対象で、①地震保険や他の共済に加入していても加入・給付可②住宅の築年数や構造・規模などとは関係なく定額負担・定額給付③あらゆる自然災害（地震や落雷などで発生した火災など含む）が対象—が大きな特徴です。加入には銀行印、口座番号が必要（クレジット可）。